

## 評価・改善部会議事要旨

開催日時；平成 29 年 2 月 27 日（月） 15：00～16：30

開催場所；秋田大学医学部附属病院 大会議室

出席者；別紙名簿のとおり

### ◎協議事項

#### （1）議事要旨確認

前回の議事要旨「協議事項（1）活動目標について」に記載されている本部会の使命と活動目標について、本山部会長より説明があった。

#### （2）秋田県がん死亡率改善率データの提供

本山部会長より、国立がん研究センターから入手したデータを基に、徐々に低下していた秋田県のがん 75 歳未満年齢調整死亡率は 2015 年に上昇に転じ、最近 10 年の全がん死亡率の改善率は秋田県が全国で最も低かったことの報告があった。

#### （3）PDCA フォーラム参加報告（2 月 3 日開催）

本山部会長より、平成 29 年 2 月 3 日に国立がん研究センターで実施された「平成 28 年度都道府県がん診療連携拠点病院 PDCA サイクルフォーラム」へ参加したことの報告があった。その中でがん診療連携拠点病院等の整備に関する指針が示す PDCA サイクル確保の体制には、国立がん研究センターが中心となつて行う全国レベルの PDCA サイクル、都道府県拠点病院が中心となつて行う都道府県レベルの PDCA サイクル、そして各々の施設における拠点病院レベルの PDCA サイクルがあり、各病院レベルでの PDCA サイクルの実施が最も重要であるとの説明があった。

#### （4）井岡亜希子氏による秋田県がん医療評価について

秋田県の第 3 期がん対策推進計画の策定に向けて、大阪府のがん対策推進計画作成に関係しておられた、井岡亜希子氏より第 3 者的な意見を頂いたことの説明があった。

#### （5）2009 年症例施設別がん 5 年相対生存率解析中間報告

2008 年症例施設別がん 5 年相対生存率については当協議会において報告済みであり、国立がん研究センターにおいて施設別 5 年相対生存率を発表した場合には、秋田県においてステージ別の施設別 5 年相対生存率を秋田県がん診療連携協議会のホームページへ掲載する予定であったが、現在まだ国立がん研究センターのホームページに当該事項が掲載されていないことから協議会でも掲載していないことの説明があった。

2009 年症例施設別がん 5 年相対生存率については一部（胃がん・大腸がん）について解析が終了しているとの報告があった。その中で、国立がん研究センターでは予後判明率が 90%、症例数が 50 件以上を公表対象としているのに対し、秋田県では予後判明率は 80%、症例数は 20 件超を公表の対象としたいとの説明があった。

これらの施設別がん 5 年相対生存率について、国立がん研究センターにおいてホームページへ未公開の状況でも、秋田県において先行して協議会ホームページへ掲載しても良いかどうか協議の結果、秋田県において先行して掲載を実施したいことを評価・改善部会として、協議会へ提案することとなった。

(6) 第3期がん対策推進計画作成に関して

秋田県の第3期がん対策推進計画の策定にあたって、作成母体である秋田県の「健康づくり推進審議会、がん対策分科会」に対して、秋田県がん診療連携協議会及び第3者の意見として井岡亜希子氏からの意見を積極的に提案して行きたいとの説明があった。

(7) PDCA サイクル評価シートに際しての県の共通目標（各部会共通目標の設定）

鳥取県の取り組みの中で、PDCA サイクル評価シートが使用されており、秋田県においても目標を明確にし、それに対する計画、実施項目、評価、改善を記載したうえで、事務局で一括保管することの提案があった。協議の結果、各作業部会及び各施設において PDCA サイクル評価シートを作成し、次回開催の部会までに事務局まで提出することとなった。

(8) 相互チェックの考え方について

相互評価の実施方法について、県拠点病院（秋田大学医学部附属病院）には指導の権限がないため、部会を秋田大学医学部附属病院以外において開催する際、開催施設より現状を発表してもらい、これを県拠点病院及び各拠点病院側が評価する形で相互評価とする意見と、発表会形式では良い面だけを発表してしまうので実情を見る必要があるとの意見があり、引き続き検討することとした。

◎平成29年度第1回評価・改善部会の開催について

本山部会長より、次回開催の部会について、県南地区を代表して、平鹿総合病院において実施することについて平鹿総合病院長より了解を頂いていることの報告があった。次回開催部会では、各施設から PDCA サイクル評価シートを提出してもらうこと、各施設から秋田県の第3期がん対策推進計画に掲載する事項を提出してもらうこと、開催病院からがん医療の現状及び PDCA 計画について発表をしてもらうことの提案があり、開催病院と相談のうえ進めることとなった。

また、次回の部会において、国立がん研究センターの QI 研究評価に関する取り纏めを行っている東尚弘先生より「QI 研究を利用したがん医療の質的評価（仮）」と題してご講演頂くことの提案があり了承された。その中でサブリーダーより、がん登録業務は国立がん研究センターの QI 研究と密接な関係があるので、県内のがん登録実務者の参加を呼びかけて欲しいとの意見があった。

以上で、平成28年度第4回評価・改善部会が終了した。